

## 本県の経済活動の状況

～令和2年度静岡県県民経済計算及び地域経済計算から～

デジタル戦略局 データ活用推進課

### はじめに

県民経済計算は、県民の経済活動によって1年間に生み出された成果（付加価値）を、生産・分配・支出の三面から総合的かつ体系的にとらえたものです。

本県の経済規模、構造、成長率や県民の所得などを明らかにするだけでなく、①経済力、②経済的な豊かさ、③産業構造を示す指標としても利用されています。

また、地域経済計算は、県民経済計算で推計した県全体の県内総生産を、様々な統計等を基に分割し、県内4地域及び各市町別の経済状況を明らかにしたものです。

今回の特集では、最新値である令和2年度の推計結果から本県の経済活動の状況を理解いただき、様々な事業や施策に御活用いただければ幸いです。

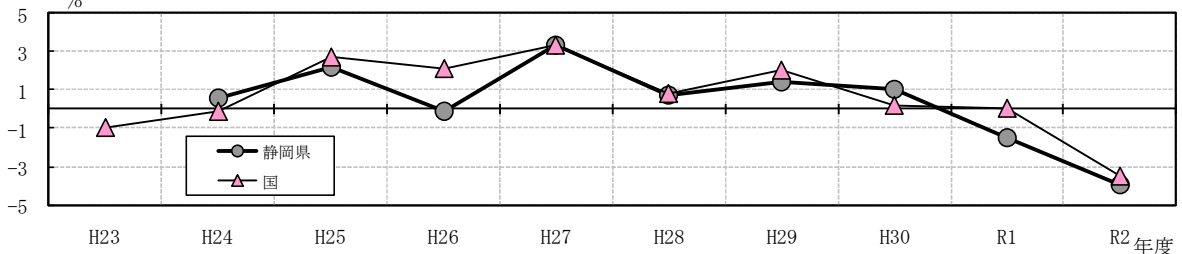
### 1 県全体の経済活動の状況

県民経済計算の推計結果である県内総生産、経済成長率、県民所得及び一人当たり県民所得から、令和2年度の状況を明らかにする。

#### (1) 令和2年度の概況

経済成長率は、名目▲4.0%、実質▲4.9%と、ともに2年連続のマイナス成長となった。なお、国の成長率（名目▲3.5%、実質▲4.1%）と比較すると、名目、実質ともに国を下回った。

図表1 名目経済成長率の推移

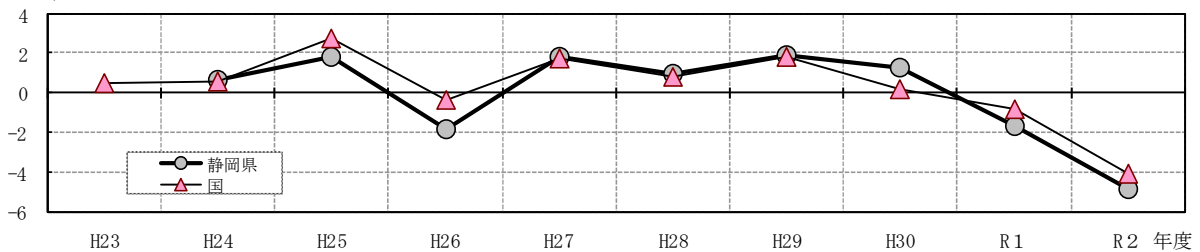


名目経済成長率の推移

区分	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2
静岡県	-	0.6	2.2	▲0.1	3.3	0.7	1.4	1.0	▲1.5	▲4.0
国	▲1.0	▲0.1	2.7	2.1	3.3	0.8	2.0	0.2	0.0	▲3.5

国値：内閣府経済社会総合研究所『2021年度(令和3年度)国民経済計算年次推計』

図表2 実質経済成長率(連鎖)の推移



実質(連鎖)経済成長率の推移

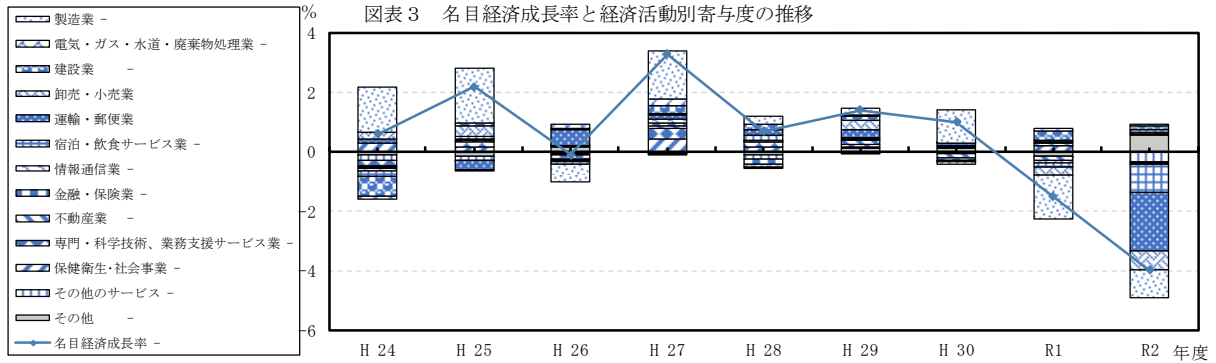
項目	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2
静岡県	-	0.6	1.8	▲1.9	1.8	0.9	1.9	1.3	▲1.7	▲4.9
国	0.5	0.6	2.7	▲0.4	1.7	0.8	1.8	0.2	▲0.8	▲4.1

国値：内閣府経済社会総合研究所『2021年度(令和3年度)国民経済計算年次推計』

## (2) 名目経済成長率に対する寄与度

名目経済成長率▲4.0%に対する経済活動別寄与度が最も大きかったのは、公務の+0.7%であった。(下表の「その他」+0.6%に含まれる。)

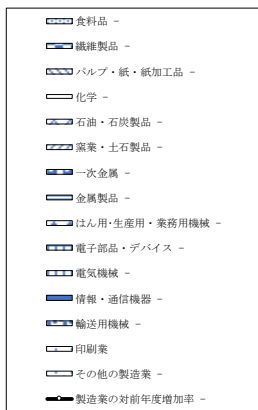
主要産業である製造業の寄与度は▲0.9%で、はん用・生産用・業務用機械、食料品及び電気機械が振るわなかった。



名目経済成長率と経済活動別寄与度の推移

単位: %

項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
製造業	1.5	1.8	▲0.6	1.6	0.3	0.3	1.1	▲1.5	▲0.9
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	▲0.1	▲0.0	0.1	0.2	▲0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
建設業	▲0.7	0.1	0.0	0.3	0.2	0.1	0.0	0.3	0.1
卸売・小売業	0.2	0.4	▲0.1	0.1	▲0.1	0.3	▲0.1	▲0.2	▲0.6
運輸・郵便業	0.1	▲0.3	0.5	0.1	0.2	0.3	0.1	0.0	2.0
宿泊・飲食サービス業	▲0.2	0.1	▲0.0	▲0.0	0.2	0.1	▲0.0	▲0.2	▲0.9
情報通信業	▲0.1	▲0.0	▲0.1	0.1	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.1	0.1
金融・保険業	▲0.1	0.1	▲0.1	0.1	▲0.2	0.0	▲0.1	0.0	▲0.1
不動産業	▲0.1	0.0	▲0.0	0.1	0.0	0.2	▲0.1	▲0.1	▲0.0
専門・科学技術・業務支援サービス業	▲0.2	0.2	0.0	0.4	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1
保健衛生・社会事業	0.3	0.2	0.0	0.4	0.2	▲0.0	0.1	0.2	0.0
その他のサービス	▲0.2	▲0.1	▲0.1	▲0.0	▲0.1	0.1	▲0.1	▲0.0	▲0.3
その他	▲0.1	▲0.2	0.2	▲0.0	▲0.1	0.1	0.1	▲0.1	0.6
名目経済成長率	0.6	2.2	▲0.1	3.3	0.7	1.4	1.0	▲1.5	▲4.0



製造業の対前年度増加率と中分類寄与度の推移

単位: %

中分類	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
食料品	0.0	0.0	0.0	▲0.1	0.0	▲1.5	▲0.5	0.8	▲0.8
繊維製品	▲0.0	0.0	0.0	0.0	▲0.1	0.1	0.0	▲0.0	▲0.0
パルプ・紙・紙加工品	0.1	▲0.4	0.1	0.8	0.1	0.0	0.1	0.1	▲0.0
化学	▲0.0	0.5	▲0.7	1.7	1.1	0.9	▲0.9	▲0.6	0.3
石油・石炭製品	▲0.0	0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	0.0	0.0	▲0.0	0.0
窯業・土石製品	0.0	0.3	▲0.3	0.1	▲0.3	0.2	▲0.2	0.0	0.1
一次金属	▲0.2	0.1	0.3	▲0.2	0.5	▲0.4	▲0.1	▲0.1	0.3
金属製品	0.3	0.2	0.2	0.4	▲0.2	▲0.1	0.4	▲0.2	0.1
はん用・生産用・業務用機械	▲0.7	1.0	0.4	1.3	▲1.8	0.6	1.0	▲1.6	▲0.9
電子部品・デバイス	▲0.0	▲0.3	0.2	0.4	▲0.1	0.2	0.1	0.0	0.1
電気機械	2.0	1.0	0.6	▲0.4	1.0	0.3	1.7	▲0.6	▲0.8
情報・通信機器	▲1.2	0.2	0.4	▲0.4	▲0.6	▲0.3	0.3	▲0.6	▲0.2
輸送用機械	4.0	2.0	▲2.5	0.3	1.1	0.9	0.6	▲0.9	▲0.6
印刷業	0.1	▲0.1	0.0	▲0.1	0.0	0.0	▲0.1	0.0	0.1
その他の製造業	0.1	0.2	▲0.4	0.7	▲0.0	▲0.2	0.7	▲0.1	▲0.3
製造業の対前年度増加率	4.3	4.9	▲1.6	4.4	0.7	0.7	3.0	▲3.9	▲2.5

(3) 県民経済計算の主要指標(県内総生産、県民所得、一人当たり県民所得)の状況

令和2年度の県内総生産(名目)は17兆1,052億円、県民所得は11兆2,985億円、一人当たり県民所得は311万円である。

県内総生産の額は前年度よりも減少したが、平成23年度から連続して全国10位となっており、また国内総生産の約3.1%を占めている。

また、一人当たり県民所得は全国6位となった。一人当たり国民所得の297万5千円と比較すると、金額で13万5千円、率で4.5%上回っている。

なお、東京都は日本の上場企業の本社が集中していることに加え、様々な産業分野が集中している地域であるため、県内総生産等の値は他の道府県と比較し、群を抜いて高くなっている。

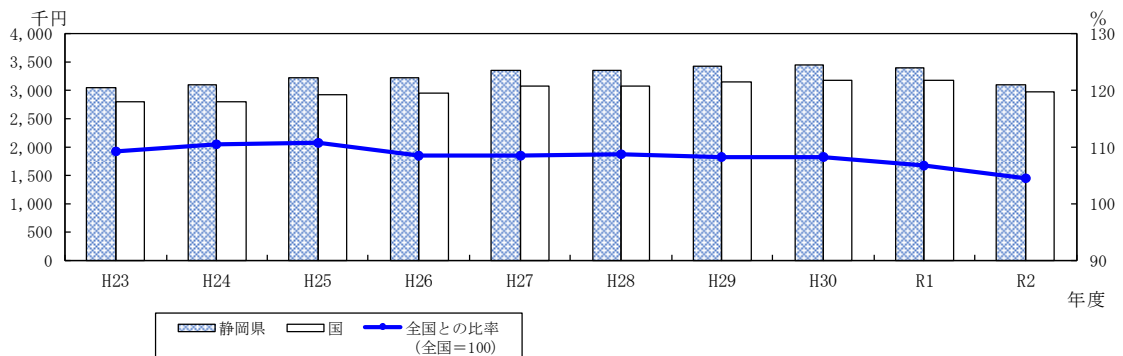
図表5 令和2年度県民経済計算の全国順位

順位	(単位:十億円)		(単位:十億円)		(単位:千円)	
	県内総生産(名目)		県民所得		一人当たり県民所得	
1	東京都	109,602	東京都	73,249	東京都	5,214
2	大阪府	39,720	神奈川県	27,354	愛知県	3,428
3	愛知県	39,659	愛知県	25,858	福井県	3,182
4	神奈川県	33,905	大阪府	25,008	栃木県	3,132
5	埼玉県	22,923	埼玉県	21,228	富山県	3,120
6	兵庫県	21,736	千葉県	18,775	<b>静岡県</b>	<b>3,110</b>
7	千葉県	20,776	兵庫県	15,775	茨城県	3,098
8	北海道	19,726	北海道	14,011	滋賀県	3,097
9	福岡県	18,887	福岡県	13,505	徳島県	3,013
10	<b>静岡県</b>	<b>17,105</b>	<b>静岡県</b>	<b>11,298</b>	千葉県	2,988

※計数:内閣府『県民経済計算(平成23年度-令和2年度)』

注意:一人当たり県民所得とは、県民所得を県の総人口で割ったもので、企業の所得等も含んだ県民経済全体の水準を表す指標であり、県民個人の給与や実収入等を表すものではないことに注意が必要である。

図表6 一人当たり県民所得と国民所得の比較



一人当たり県民所得と国民所得(要素費用表示)の比較

単位:千円

項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
静岡県	3,059	3,105	3,240	3,215	3,354	3,359	3,420	3,441	3,391	<b>3,110</b>
国	2,798	2,808	2,925	2,961	3,089	3,089	3,157	3,181	3,177	<b>2,975</b>
全国との比率 (全国=100)	109.3	110.6	110.8	108.6	108.6	108.7	108.3	108.2	106.7	<b>104.5</b>

国値:内閣府経済社会総合研究所『2020年度(令和2年度)国民経済計算年次推計』

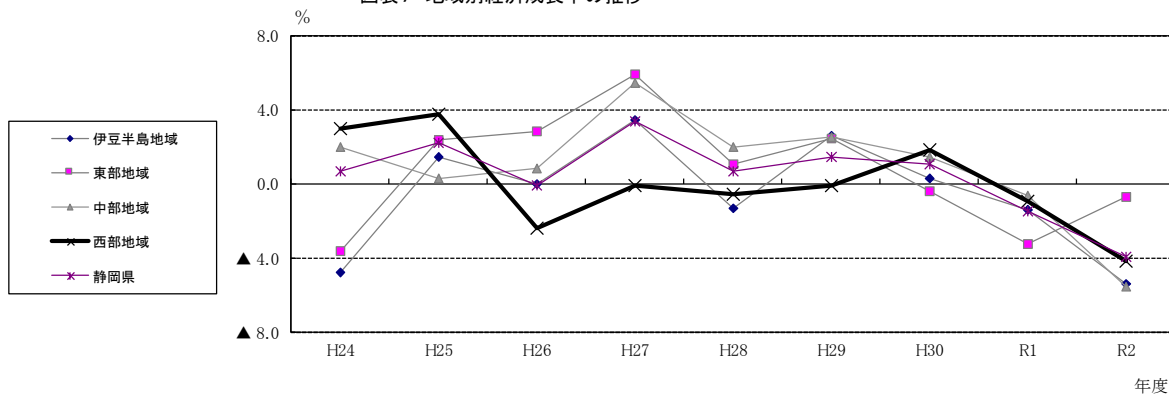
## 2 地域別の経済活動の状況

次に、県総合計画の地域区分である4地域（伊豆半島、東部、中部、西部）に区分し、令和2年度の状況について説明する。

### (1) 地域別経済成長率

令和2年度の地域別経済成長率は、全地域がマイナスとなる中で、中部地域が▲5.6%と最大の下落であった。

図表7 地域別経済成長率の推移



地域別経済成長率

単位: %

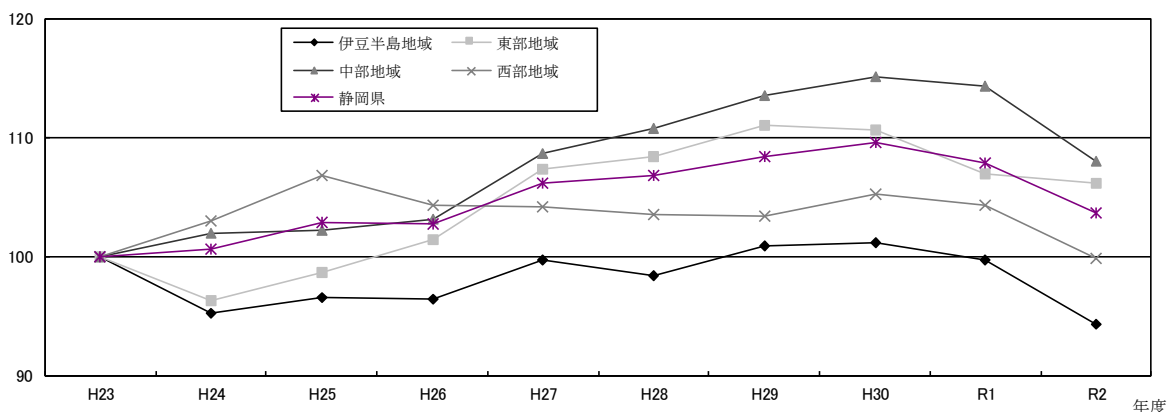
項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H23-R2 平均
伊豆半島地域	-	▲ 4.8	1.4	▲ 0.0	3.4	▲ 1.4	2.6	0.2	▲ 1.4	▲ 5.4	▲ 0.6
東部地域	-	▲ 3.7	2.4	2.8	5.9	1.0	2.4	▲ 0.4	▲ 3.3	▲ 0.7	0.7
中部地域	-	2.0	0.3	0.8	5.4	1.9	2.5	1.4	▲ 0.7	▲ 5.6	0.9
西部地域	-	3.0	3.7	▲ 2.4	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.1	1.8	▲ 1.0	▲ 4.2	▲ 0.0
静岡県	-	0.6	2.2	▲ 0.1	3.3	0.7	1.4	1.0	▲ 1.5	▲ 4.0	0.4

### (2) 地域別総生産

令和2年度の地域別の総生産を見ると、西部地域が6兆3,139億円で最大となり、以下、中部、東部、伊豆半島の順となった。

平成23年度を100として総生産を時系列で見ると、伊豆半島地域及び中部地域は平成30年度が最も高く、東部地域は平成29年度、西部地域は平成25年度が最も高い。また、伊豆半島地域及び西部地域は令和2年度が最も低く、東部地域は平成24年度、中部地域は平成23年度が最も低くなっている。

図表8 地域別総生産の推移 (平成23年度=100)



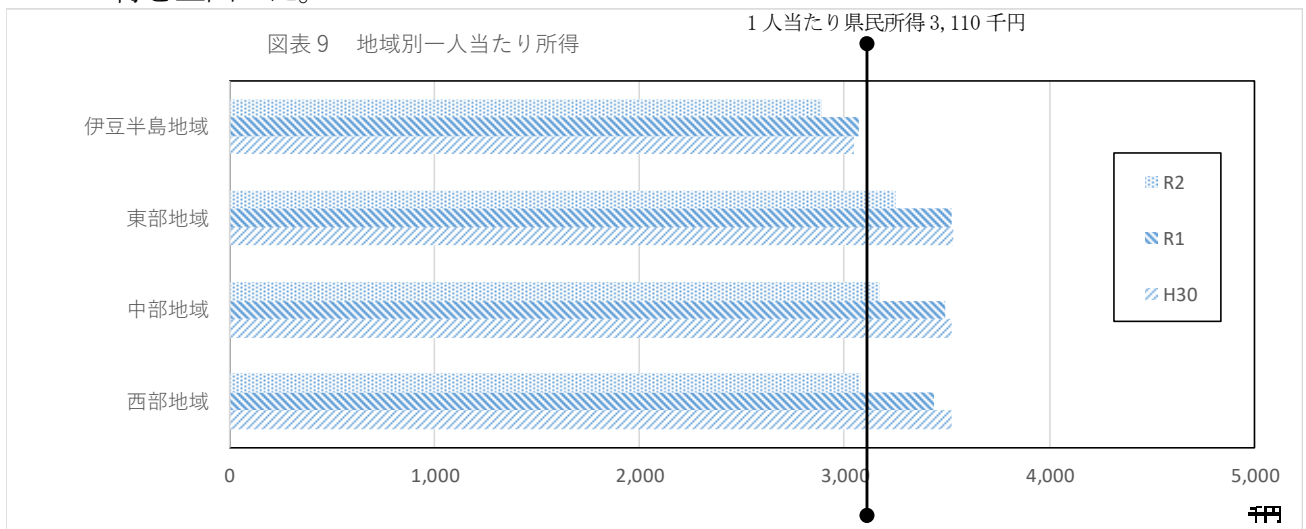
地域別総生産の推移

単位：10億円

項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
伊豆半島地域	2,191	2,086	2,115	2,114	2,186	2,156	2,212	2,217	2,186	<b>2,067</b>
東部地域	4,195	4,041	4,137	4,254	4,504	4,549	4,659	4,639	4,485	<b>4,454</b>
中部地域	5,171	5,273	5,287	5,330	5,619	5,728	5,870	5,954	5,913	<b>5,582</b>
西部地域	6,320	6,509	6,753	6,589	6,583	6,543	6,535	6,654	6,589	<b>6,314</b>
静岡県	16,509	16,614	16,974	16,957	17,523	17,641	17,897	18,079	17,813	<b>17,105</b>

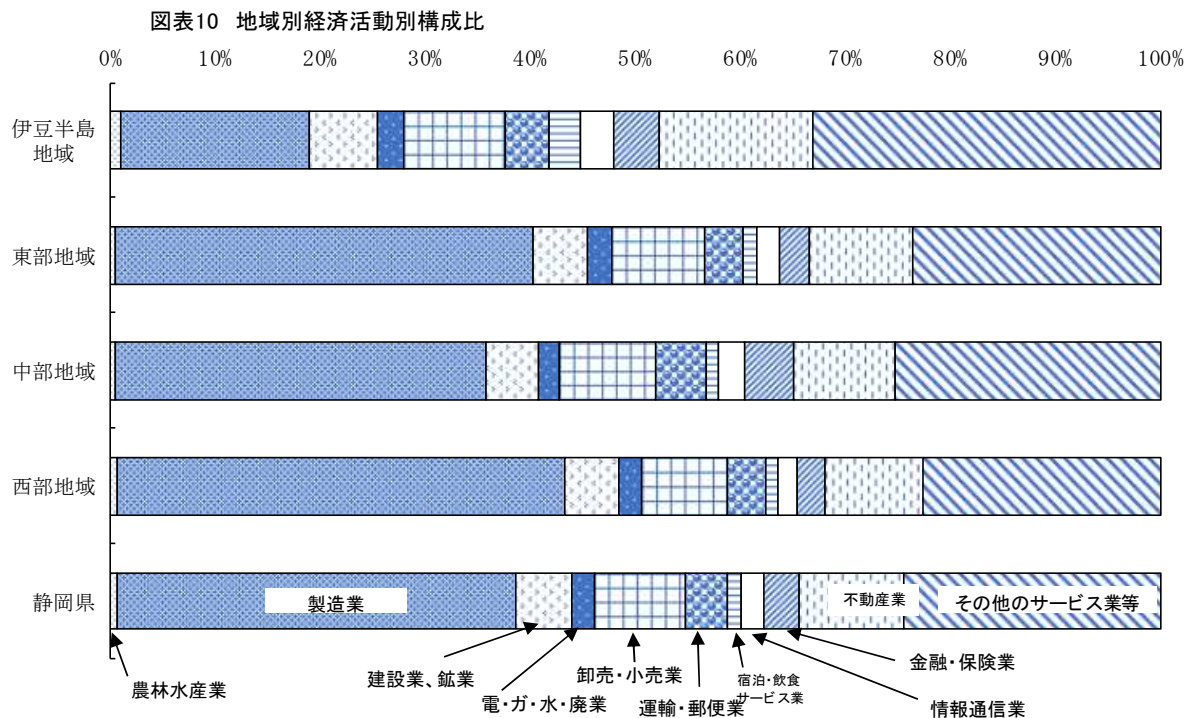
### (3) 地域別一人当たり所得

東部地域が325万1千円と最も高く、東部地域及び中部地域が、一人当たり県民所得を上回った。



### (4) 産業構造

地域別経済活動別構成比を見ると、伊豆半島地域では宿泊・飲食サービス業、東部、中部、西部地域では製造業の割合が大きい。



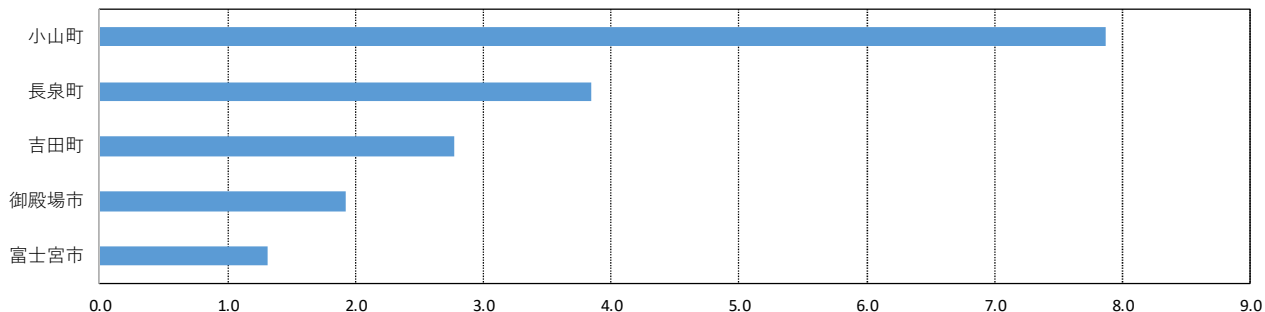
### 3 市町別の経済活動の状況

続いて、市町別の令和2年の状況について説明する。

#### (1) 市町別経済成長率

小山町が+7.9%で最も高く、7市町がプラス成長となった。

図表11 市町別経済成長率（上位5市）

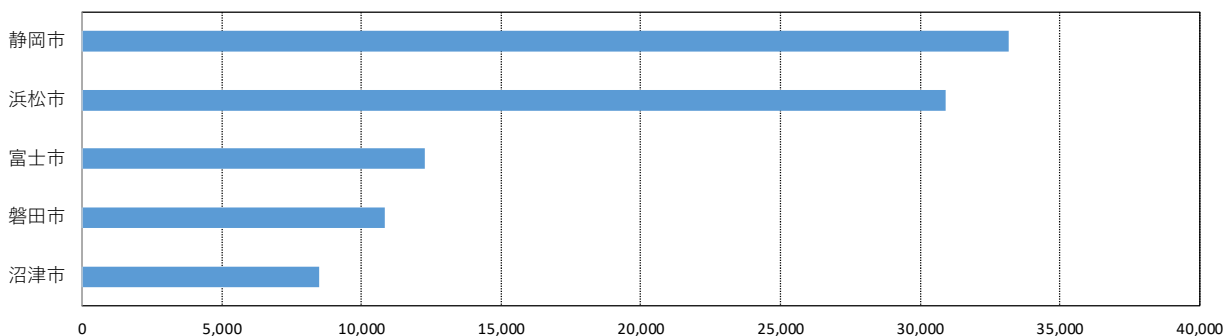


※

#### (2) 市町内総生産

静岡市が3兆3,159億円で最も大きく、上位5市で県内総生産の約56%を占める。

図表12 市町民総生産（上位5市）

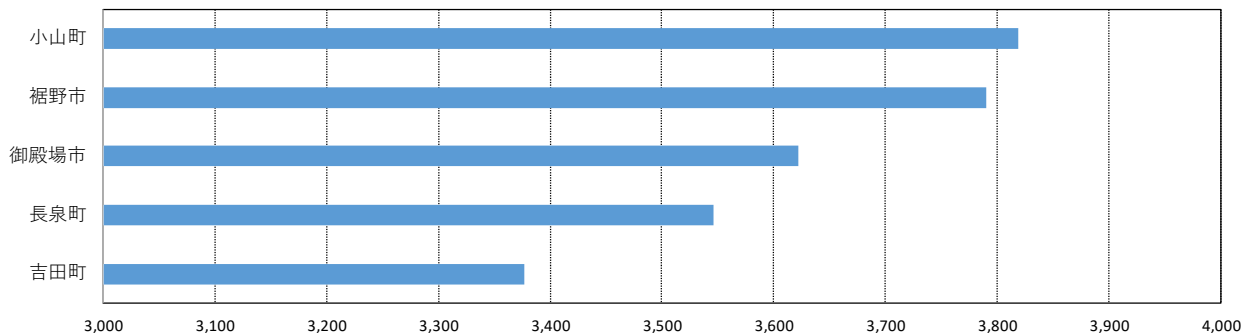


億円

#### (3) 一人当たり市町民所得

小山町が381万9千円で最も高く、11市町で一人当たり県民所得を上回った。

図表13 市町別一人当たり市町民所得（上位5市町）



千円

### むすびに

静岡県県民経済計算及び地域経済計算の詳細なデータについては、静岡県統計情報サイト「統計センターしずおか」(URL <https://toukei.pref.shizuoka.jp/>) で入手することができますので、ぜひ御覧ください。